

利益相反相談シート（例）

提出日：平成〇年〇月〇日

学術研究・産学官連携本部 御中

（相談者）

所属：〇〇〇
職名：〇〇〇
氏名：〇〇〇

1. 相談対象となる産学連携活動の連携先を記入して下さい。

株式会社〇〇〇

2. 上記連携先は、本学で創出された研究成果を事業化する目的で設立された企業等＝大学発ベンチャーに該当しますか？

- 該当する。
 該当しない。

3. あなたが上記連携先と現在行っている、あるいは今後行う予定の産学連携活動を選択して下さい。

共同研究等：共同研究（本学と連携先とが共通の課題に共同で取り組む研究）、受託研究（連携先からの委託を受けて本学が単独で取り組む研究）等（寄附金の受入のことではありません。）

臨床研究を伴う。

技術移転：自身が関与する知的財産の連携先へのライセンス・譲渡等

寄附金：本学が行う連携先からの寄附金の受入【約 〇〇〇 万円／年】

兼業：連携先の【 〇〇〇 】へ就任

その他：

4. あなた、あなたの配偶者、又はあなたと生計を一にする二親等以内の親族のいずれかが上記連携先との間で現在有する、あるいは今後有することが見込まれる経済的関係を選択して下さい。

過去1年以内に本学の公費を用いた連携先からの調達【約 〇〇〇 円／年】に関与した、又は今後【約 〇〇〇 円／年】関与する見込みがある。

過去1年以内に連携先より金銭又は物品等の経済的利益【約 〇〇〇 円／年】を得た、又は今後【約 〇〇〇 円／年】得る見込みがある。

連携先のエクイティ【種類： 〇〇〇】を【約 〇〇 %】保有している、又は【約 〇〇 %】保有する見込みがある。

その他：

5. 相談されたい内容を自由に記述して下さい。

当該企業は、〇〇〇（研究内容）の研究成果として〇年〇月に設立された大学発ベンチャー企業です。

現在私は、当該企業の〇〇〇（取締役、アドバイザー、技術顧問等）として兼業をしていて、その兼業報酬として〇〇円の収入があります。なお、本兼業においては学内承認済みです。エクイティとしては、〇〇〇を保有しています。今回、当該企業と共同研究を締結することを考えていて、〇〇〇（研究内容）の研究を行う予定です。

この場合、利益相反上、問題になるのかどうかを相談したいと思っています。

※記入漏れがないことを確認の上、電子メールにて
学術研究・産学官連携本部 産学・社会連携支援グループ
(産学・社会連携課 連携企画係) e-mail : snsrenkei@jimu.kyushu-u.ac.jp
へお送りください。その際、参考となる資料があれば添付して下さい。

(以下、学術研究・産学官連携本部において記入)

6. 回答

○○○○ 様

平成 年 月 日
学術研究・産学官連携本部